

令和6年11月27日

令和5年度学校保健統計結果（概要版）

（学校保健統計調査結果の概要）

福島県企画調整部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	
第1	発育状態	
1	身長	2
2	体重	3
第2	肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率	
1	肥満傾向児の出現率	5
2	痩身傾向児の出現率	6
第3	健康状態	
1	疾病・異常の被患率等別状況	8
2	主な疾病・異常の推移	9

利用される方へ

- この概要版は、令和5年度学校保健統計調査（文部科学省所管）について、文部科学省の公表する確報値を基に、福島県分について、その一部をとりまとめたものである。
- 表中の記号の意味は、次のとおり。
 - 「－」 計数がない項目
 - 「…」 調査対象とならなかった項目
 - 「0.0」 0ではないが、表示単位未満の数値
 - 「△」 マイナス
 - 「X」 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない
- 表中の計、差の欄については、小数点以下第2位四捨五入により、掲載上の計算値と一致しない場合がある。

※平成23年度は震災等の影響により調査を実施していない。
※令和5年度は健康診断の実施時期が延長されたことに伴い、調査期間を延長して実施した。

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

(1) 調査の範囲は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）とする。

(2) 調査の対象は、調査実施校に在籍する5歳から17歳（令和5年4月1日現在の満年齢）までの幼児、児童及び生徒（以下「調査実施校在籍者」という。）である。

(3) 本速報においては、以下のとおり、掲載項目ごとに調査対象者が異なる。

① 発育状態（2～4頁）：調査実施校在籍者のうち年齢別男女別に抽出された者

② 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率（5～7頁）：①に同じ

③ 健康状態（8、9頁）：調査実施校在籍者全員

調査対象者数（福島県）

区分	対象学校数 (校、園)	調査実施校数 (校)	県内学校の 在籍者数 A (人)	発育状態調査 対象者数 B (人)	抽出率 B/A (%)	健康状態調査 対象者数 C (人)	抽出率 C/A (%)
幼稚園	319	35	8,529	1,237	14.5	1,595	18.7
小学校	397	60	84,254	5,415	6.4	21,639	25.7
中学校	219	40	44,684	4,550	10.2	13,709	30.7
高等学校	97	30	42,668	2,492	5.8	17,971	42.1
計	1,032	165	180,135	13,694	7.6	54,914	30.5

(注) 1 幼稚園の在籍者数は、5歳児のみの人数である。

2 発育状態調査は、調査実施校在籍者のうち年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校在籍者全員を対象とする。

3 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校の第1～6学年を、中学校には義務教育学校の第7～9学年をそれぞれ含む。

3 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長、体重）

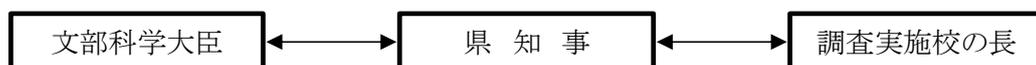
(2) 児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭・四肢の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿及びその他の疾病・異常の有無）

4 調査の方法

(1) 本調査は、4月1日から6月30日の間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査するものである。ただし、令和5年度については、令和2～4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により健康診断の実施期間が令和6年3月31日まで延長されたことに伴い、調査期間を延長して実施した。

（このため、令和5年度の数値については、成長の著しい時期において健康診断実施時期を異にしたデータを集計したものであり、過去の数値と単純な比較はできない。）

(2) 調査系統は、次のとおりである。



II 調査結果の概要

第1 発育状態

身長及び体重の本県平均値と全国平均値を年齢別にみると、表1、図1及び表2、図2のとおりである。

1 身長

9歳から11歳では、女子が男子を上回っている。

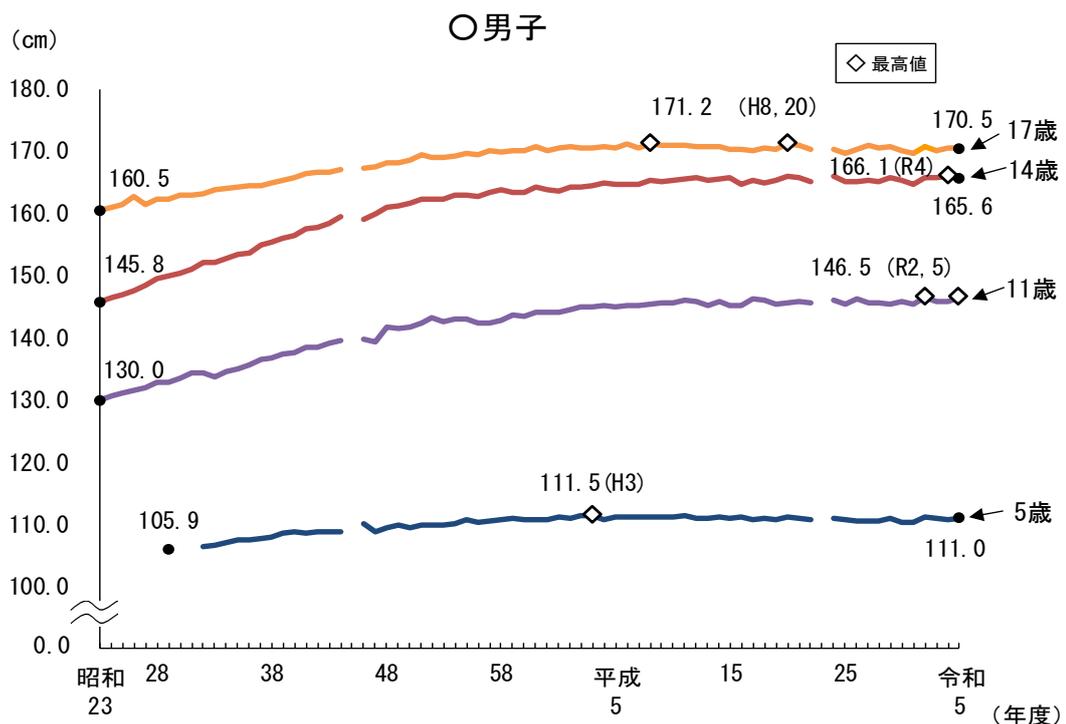
全国との比較でみると、男子は8歳から11歳及び16歳の各年齢で、女子は5歳、6歳、8歳、10歳及び11歳の各年齢で、全国平均を上回っている。(表1、図1)

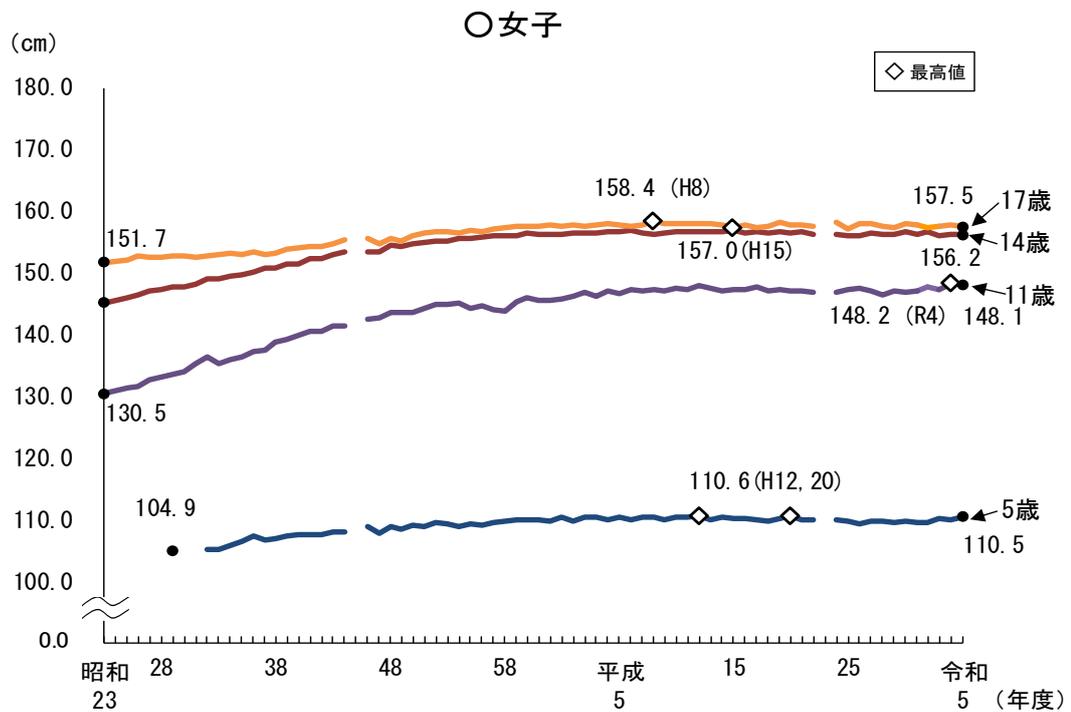
表1 年齢別 身長の平均値

(cm)

区 分	男子					女子					
	R5 (A)	R4 (B)	前年度差 (A-B)	全国 (C)	全国との差 (A-C)	R5 (D)	R4 (E)	前年度差 (D-E)	全国 (F)	全国との差 (D-F)	
幼稚園	5歳	111.0	110.7	0.3	111.0	0.0	110.5	110.0	0.5	110.2	0.3
	6歳	116.8	117.4	△0.6	116.9	△0.1	116.1	116.2	△0.1	116.0	0.1
小学校	7歳	122.9	122.9	0.0	123.0	△0.1	121.6	122.0	△0.4	122.1	△0.5
	8歳	128.7	128.5	0.2	128.6	0.1	128.1	128.4	△0.3	127.8	0.3
	9歳	134.2	132.9	1.3	134.1	0.1	134.3	134.8	△0.5	134.4	△0.1
	10歳	139.7	139.7	0.0	139.6	0.1	141.8	141.2	0.6	141.4	0.4
	11歳	146.5	145.8	0.7	146.2	0.3	148.1	148.2	△0.1	147.9	0.2
中学校	12歳	154.2	154.2	0.0	154.2	0.0	152.2	152.0	0.2	152.3	△0.1
	13歳	160.8	160.8	0.0	161.1	△0.3	154.5	155.0	△0.5	155.0	△0.5
	14歳	165.6	166.1	△0.5	166.0	△0.4	156.2	156.2	0.0	156.4	△0.2
高等学校	15歳	168.4	168.5	△0.1	168.6	△0.2	157.2	156.4	0.8	157.2	0.0
	16歳	170.3	170.1	0.2	169.9	0.4	157.6	157.4	0.2	157.8	△0.2
	17歳	170.5	170.5	0.0	170.7	△0.2	157.5	157.7	△0.2	158.0	△0.5

図1 身長の平均値の推移（幼稚園、小学6年、中学3年、高校3年）





※ 昭和 45 年度は標本数が少なく、本県の数値は公表していない。
平成 23 年度は東日本大震災の影響により本県では調査を実施していない。

2 体重

10 歳を除き男子が女子を上回っている。

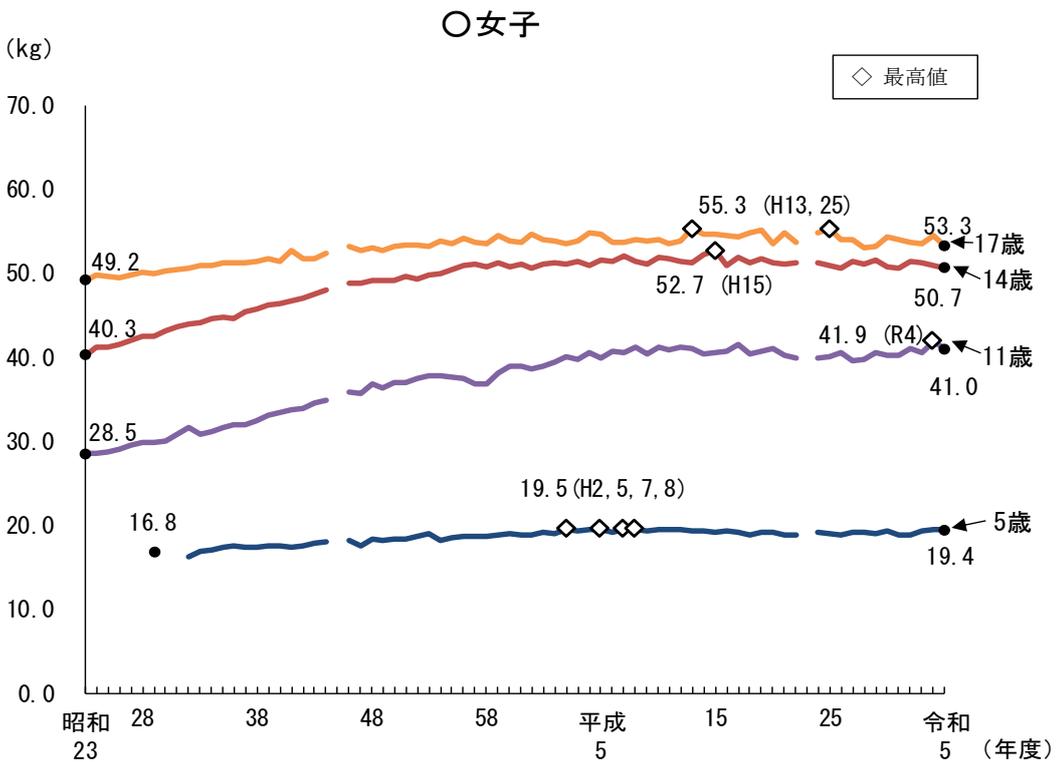
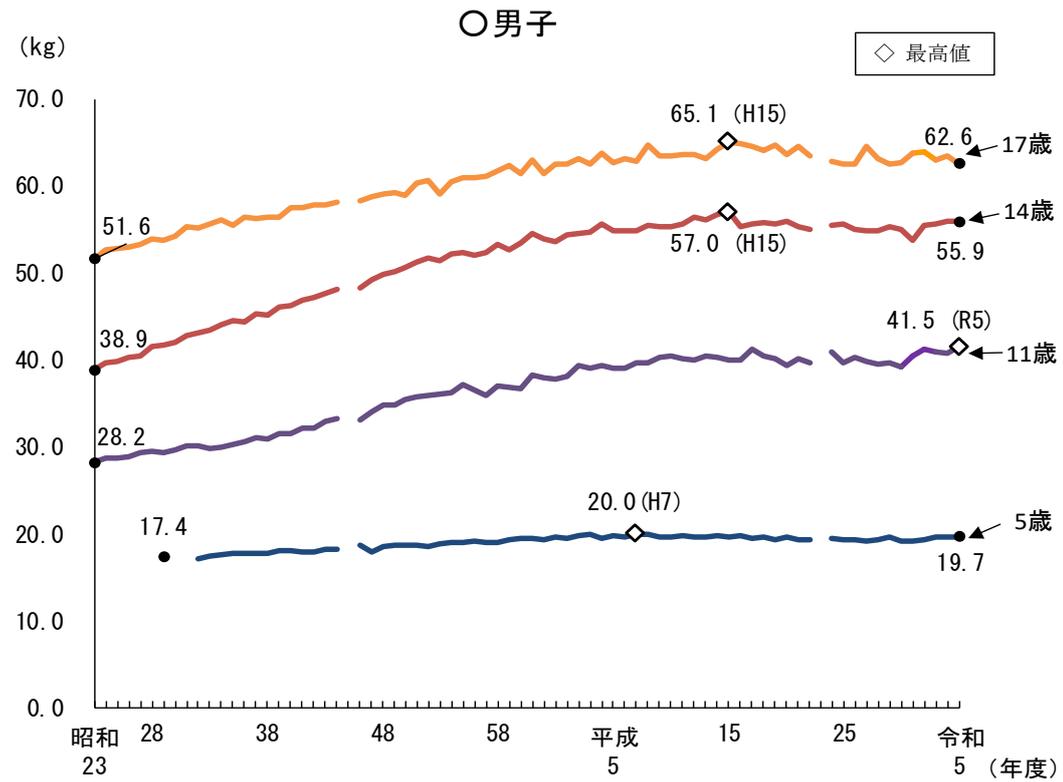
全国との比較で見ると、女子の 7 歳を除き全国平均を上回っている。(表 2、図 2)

表 2 年齢別 体重の平均値

(kg)

区 分		男子					女子				
		R5 (A)	R4 (B)	前年度差 (A-B)	全国 (C)	全国との差 (A-C)	R5 (D)	R4 (E)	前年度差 (D-E)	全国 (F)	全国との差 (D-F)
幼稚園	5 歳	19.7	19.6	0.1	19.2	0.5	19.4	19.4	0.0	18.9	0.5
	6 歳	21.8	22.8	△1.0	21.6	0.2	21.6	21.6	0.0	21.2	0.4
小学校	7 歳	25.1	24.9	0.2	24.5	0.6	24.0	24.3	△0.3	24.0	0.0
	8 歳	28.7	28.2	0.5	27.8	0.9	27.5	28.1	△0.6	27.0	0.5
	9 歳	32.5	31.7	0.8	31.4	1.1	31.6	32.1	△0.5	31.0	0.6
	10 歳	36.1	36.6	△0.5	35.3	0.8	36.2	35.7	0.5	35.3	0.9
	11 歳	41.5	40.8	0.7	39.9	1.6	41.0	41.9	△0.9	40.2	0.8
中学校	12 歳	46.6	46.3	0.3	45.8	0.8	45.8	45.1	0.7	44.5	1.3
	13 歳	51.3	51.3	0.0	50.6	0.7	48.3	48.9	△0.6	47.6	0.7
	14 歳	55.9	56.0	△0.1	54.9	1.0	50.7	51.0	△0.3	49.8	0.9
高等学校	15 歳	59.6	59.6	0.0	59.0	0.6	52.3	52.6	△0.3	51.2	1.1
	16 歳	61.8	60.6	1.2	60.4	1.4	52.4	53.1	△0.7	52.2	0.2
	17 歳	62.6	63.5	△0.9	62.0	0.6	53.3	54.6	△1.3	52.6	0.7

図2 体重の平均値の推移（幼稚園、小学6年、中学3年、高校3年）



※ 昭和45年度は標本数が少なく、本県の数値は公表していない。
平成23年度は東日本大震災の影響により本県では調査を実施していない。

第2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

発育状態調査結果に基づく、肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率を年齢別にみると、表3、図3及び表4、図4のとおりである。

1 肥満傾向児の出現率

肥満傾向児の出現率は、前年度との比較で見ると、男子は8歳、11歳から16歳の各年齢で増加している。また、増加が最も大きいのは15歳となっている。

女子は、6歳、7歳、11歳、12歳及び14歳の各年齢で増加しており、増加が最も大きいのは7歳となっている。

全国との比較で見ると、男女ともすべての年齢で上回っている。(表3、図3)

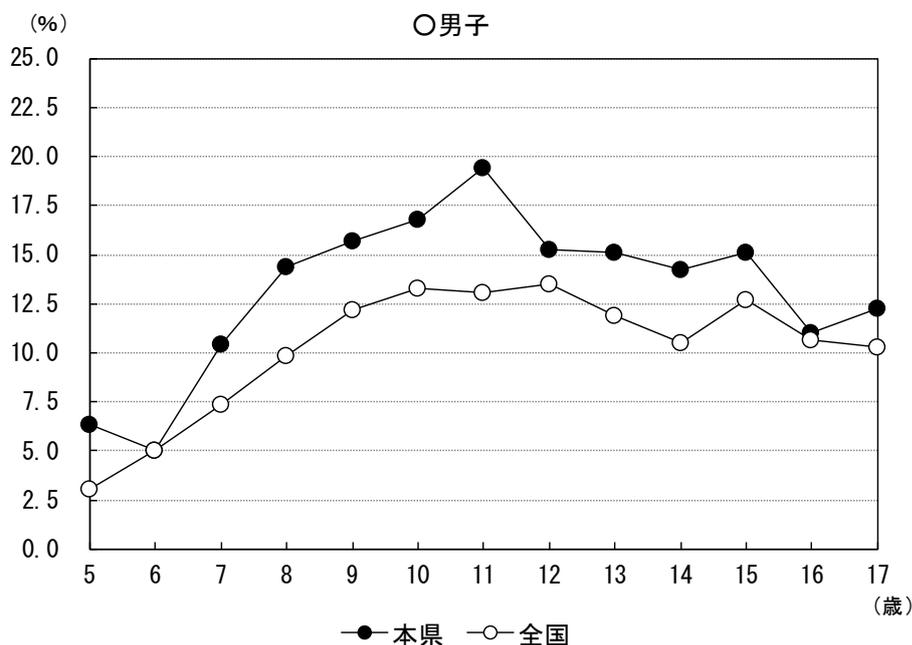
表3 年齢別 肥満傾向児の出現率 (%)

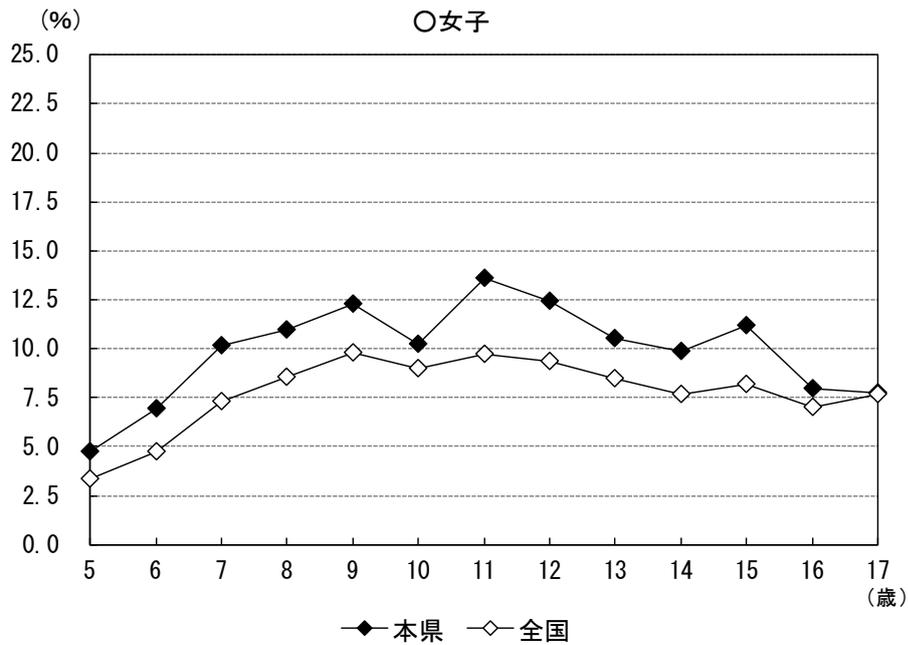
区 分	男子					女子					
	R5 (A)	R4 (B)	前年度差 (A-B)	全国 (C)	全国との差 (A-C)	R5 (D)	R4 (E)	前年度差 (D-E)	全国 (F)	全国との差 (D-F)	
幼稚園 5歳	6.31	6.66	△0.35	3.06	3.25	4.73	5.38	△0.65	3.35	1.38	
小学校	6歳	5.04	11.50	△6.46	5.03	0.01	6.96	6.42	0.54	4.71	2.25
	7歳	10.46	11.23	△0.77	7.36	3.10	10.15	9.28	0.87	7.31	2.84
	8歳	14.37	12.44	1.93	9.87	4.50	10.97	11.38	△0.41	8.58	2.39
	9歳	15.74	17.51	△1.77	12.20	3.54	12.28	13.89	△1.61	9.82	2.46
	10歳	16.83	17.17	△0.34	13.30	3.53	10.20	12.71	△2.51	9.02	1.18
	11歳	19.45	18.70	0.75	13.05	6.40	13.63	13.41	0.22	9.70	3.93
中学校	12歳	15.30	13.14	2.16	13.50	1.80	12.43	11.76	0.67	9.33	3.10
	13歳	15.13	15.12	0.01	11.93	3.20	10.49	12.76	△2.27	8.50	1.99
	14歳	14.26	12.69	1.57	10.48	3.78	9.90	9.65	0.25	7.64	2.26
高等学校	15歳	15.14	12.61	2.53	12.68	2.46	11.17	15.03	△3.86	8.17	3.00
	16歳	11.05	10.34	0.71	10.65	0.40	7.95	12.72	△4.77	7.02	0.93
	17歳	12.26	13.35	△1.09	10.29	1.97	7.75	16.08	△8.33	7.64	0.11

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

図3 肥満傾向児の出現率





2 瘦身傾向児の出現率

瘦身傾向児の出現率は、前年度との比較で見ると、男子は8歳、11歳から15歳及び17歳の各年齢で増加している。また、増加が最も大きいのは15歳となっている。

女子は、6歳、8歳、11歳、14歳及び17歳の各年齢で増加しており、増加が最も大きいのは11歳となっている。

全国との比較で見ると、男子は12歳及び15歳から17歳で、女子は5歳、6歳、14歳及び17歳で上回っている。(表4、図4)

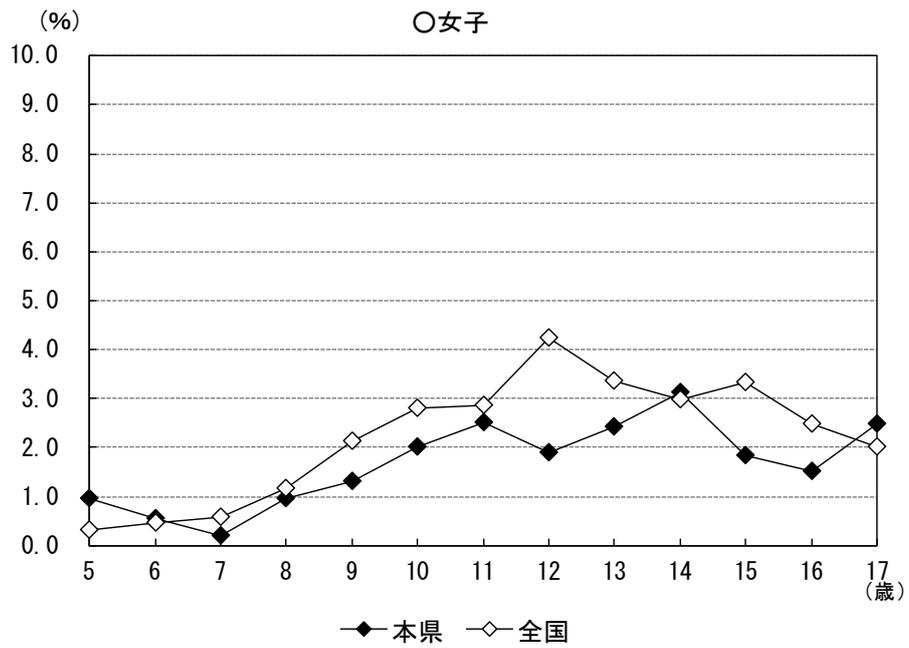
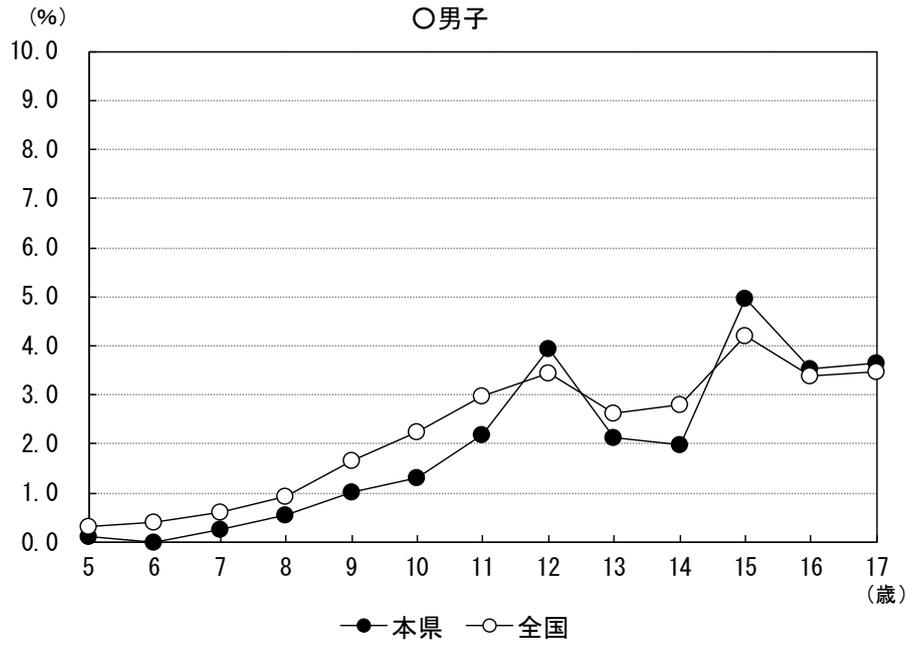
表4 年齢別 瘦身傾向児の出現率

区 分	男子					女子					
	R5 (A)	R4 (B)	前年度差 (A-B)	全国 (C)	全国との差 (A-C)	R5 (D)	R4 (E)	前年度差 (D-E)	全国 (F)	全国との差 (D-F)	
幼稚園 5歳	0.10	0.10	0.00	0.30	△0.20	0.96	-	-	0.33	0.63	
小学校	6歳	-	0.18	-	0.39	-	0.56	0.18	0.38	0.47	0.09
	7歳	0.25	-	-	0.62	△0.37	0.19	0.21	△0.02	0.57	△0.38
	8歳	0.54	0.48	0.06	0.92	△0.38	0.95	0.41	0.54	1.16	△0.21
	9歳	1.02	2.14	△1.12	1.67	△0.65	1.31	1.79	△0.48	2.12	△0.81
	10歳	1.31	1.87	△0.56	2.24	△0.93	2.01	3.31	△1.30	2.80	△0.79
中学校	11歳	2.18	2.12	0.06	2.99	△0.81	2.52	1.53	0.99	2.85	△0.33
	12歳	3.94	2.65	1.29	3.43	0.51	1.89	3.08	△1.19	4.25	△2.36
	13歳	2.13	1.69	0.44	2.64	△0.51	2.43	2.75	△0.32	3.36	△0.93
高等学校	14歳	1.99	1.93	0.06	2.81	△0.82	3.12	2.21	0.91	2.97	0.15
	15歳	4.97	2.26	2.71	4.21	0.76	1.84	2.29	△0.45	3.34	△1.50
	16歳	3.52	4.21	△0.69	3.40	0.12	1.51	2.10	△0.59	2.49	△0.98
	17歳	3.64	2.14	1.50	3.46	0.18	2.49	1.61	0.88	2.01	0.48

(注) 瘦身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が△20%以下の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

図4 痩身傾向児の出現率



第3 健康状態

1 疾病・異常の被患率等別状況

疾病・異常の被患率等を階層別にみると、表5のとおりである。

幼稚園、中学校及び高等学校で被患率等が最も高いのは「裸眼視力1.0未満の者」で、幼稚園30.6%、中学校67.3%、高等学校81.0%となっている。

小学校で被患率等が最も高いのは「むし歯（う歯）」で、45.0%となっている。

表5 学校種別 疾病・異常の被患率等 (%)

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
70以上				裸眼視力1.0未満の者 81.0	
60～70			裸眼視力1.0未満の者 67.3		
50～60					
40～50		う歯（むし歯） 45.0 裸眼視力1.0未満の者 43.0		う歯（むし歯） 48.2	
30～40	裸眼視力1.0未満の者 30.6 う歯（むし歯） 30.4		う歯（むし歯） 36.2		
20～30					
10～20					
1～10	8～10		鼻・副鼻腔疾患 9.5		
	6～8		その他の疾病・異常 7.7	その他の疾病・異常 7.5	
			歯・口腔のその他の疾病・異常 7.6		
	4～6		歯列・咬合 5.7	鼻・副鼻腔疾患 5.9	歯列・咬合 5.5
			耳疾患 4.7	歯列・咬合 5.6	歯垢の状態 5.0
			栄養状態 4.7	耳疾患 4.7	歯肉の状態 4.9
				歯垢の状態 4.0	
	2～4	歯・口腔のその他の疾病・異常 3.4	歯垢の状態 3.5	歯肉の状態 3.6	心電図異常 3.3
		歯列・咬合 3.0	ぜん息 3.5	心電図異常 3.4	その他の疾病・異常 3.2
		その他の疾病・異常 2.9	アトピー性皮膚炎 3.0	歯・口腔のその他の疾病・異常 3.1	アトピー性皮膚炎 2.2
耳疾患 2.6		眼の疾病・異常 2.4	アトピー性皮膚炎 3.1		
鼻・副鼻腔疾患 2.1		心電図異常 2.3	栄養状態 2.4		
アトピー性皮膚炎 2.1			蛋白検出の者 2.3		
1～2	ぜん息 1.7	歯肉の状態 1.8	せき柱の状態 1.5	蛋白検出の者 1.5	
	栄養状態 1.2	蛋白検出の者 1.1	口腔咽喉頭疾患・異常 1.0	ぜん息 1.4	
	言語障害 1.0			顎関節 1.2	
0.1～1	口腔咽喉頭疾患・異常 0.9	口腔咽喉頭疾患・異常 0.8		歯・口腔のその他の疾病・異常 0.7	
	眼の疾病・異常 0.6	言語障害 0.7		栄養状態 0.6	
	その他の皮膚疾患 0.5	その他の皮膚疾患 0.6			
		難聴 0.5			
	0.1～0.5	歯垢の状態 0.2	せき柱の状態 0.4	四肢の状態 0.4	せき柱の状態 0.4
		心臓の疾病・異常 0.2	心臓の疾病・異常 0.4	心臓の疾病・異常 0.3	心臓の疾病・異常 0.4
		蛋白検出の者 0.2	腎臓疾患 0.2	難聴 0.2	眼の疾病・異常 0.3
		顎関節 0.1	顎関節 0.1	腎臓疾患 0.2	難聴 0.2
		歯肉の状態 0.1	四肢の状態 0.1	顎関節 0.1	耳疾患 0.2
		胸部の状態 0.1	結核精密検査の対象者 0.1	胸部の状態 0.1	鼻・副鼻腔疾患 0.2
四肢の状態 0.1		尿糖検出の者 0.1	その他の皮膚疾患 0.1	四肢の状態 0.2	
腎臓疾患 0.1			尿糖検出の者 0.1	尿糖検出の者 0.2	
		言語障害 0.1	その他の皮膚疾患 0.1		
0.1未満		胸部の状態 0.0	結核精密検査の対象者 0.0	胸部の状態 0.0	
			結核 0.0	言語障害 0.0	

(注) 1 「眼の疾病・異常」とは、トラコーマ、流行性角結膜炎、麦粒腫(ものもらい)、眼炎、斜視、片眼失明等である。
 2 「耳疾患」とは、中耳炎、内耳炎、外耳炎、メニエール病、耳かきの欠損、耳垢栓塞等である。
 3 「鼻・副鼻腔疾患」とは、慢性副鼻腔炎(蓄のう症)、慢性的症状の鼻炎、鼻ポリープ、アレルギー性鼻炎(花粉症等)等である。
 4 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常等である。
 5 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
 6 「その他の疾病・異常」とは、本調査のいずれの調査項目にも該当しない疾病・異常(例えば、貧血、てんかん、食物アレルギー等)である。

2 主な疾病・異常の推移

主な疾病・異常の近年の推移は、表6のとおりである。

(1) 裸眼視力1.0未満の者

前年度との比較でみると、計数を得られなかった幼稚園を除き増加している。増加傾向は変わらず、小学校から高等学校まで過去最多の割合となっている。

全国との比較でみると、幼稚園から高等学校までのすべてで上回っている。

(2) むし歯（う歯）

前年度との比較でみると、幼稚園から高等学校までのすべてで減少している。

幼稚園、小学校及び高等学校では過去最少の割合となっている。

全国との比較でみると、幼稚園から高等学校までのすべてで上回っている。

(3) 鼻・副鼻腔疾患

前年度との比較でみると、幼稚園、小学校及び高等学校では減少したが、中学校では増加している。

全国との比較でみると、幼稚園から高等学校までのすべてで下回っている。

表6 学校種別 主な疾病・異常の推移

(%)

区分		裸眼視力 1.0 未満の 者	むし 歯 (う 歯)	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	心 電 図 異 常	せ き 柱 の 状 態	胸 郭 の 状 態	四 肢 の 状 態	ぜ ん 息	蛋 白 検 出 の 者	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常	耳 疾 患
幼 稚 園	H25	X	51.6	3.6	2.1	…	…	…	…	1.8	0.4	0.4	7.0
	H30	X	42.4	0.5	2.8	…	…	…	…	0.8	0.5	4.8	0.4
	R1	X	41.0	0.2	2.1	…	…	…	…	1.3	0.4	0.2	0.4
	R2	X	37.3	0.5	2.0	…	…	…	…	1.0	0.3	1.7	0.6
	R3	X	36.2	0.1	1.5	…	…	…	…	0.5	0.1	0.9	-
	R4	X	32.7	2.7	1.3	…	…	…	…	1.2	0.3	1.2	0.3
	R5	30.6	30.4	2.1	2.1	…	-	0.1	0.1	1.7	0.2	0.9	2.6
全国R5	22.9	22.6	3.0	1.5	…	0.1	0.1	0.1	1.2	1.1	0.8	2.2	
小 学 校	H25	36.1	67.0	15.9	3.1	2.6	…	…	…	4.0	0.2	2.1	7.7
	H30	38.1	57.9	10.3	2.9	3.0	…	…	…	3.5	0.5	1.3	6.7
	R1	36.5	53.3	9.7	2.4	3.5	…	…	…	1.4	1.2	2.2	4.9
	R2	39.5	51.4	6.8	2.4	4.2	…	…	…	3.2	0.5	2.0	5.6
	R3	40.6	53.4	8.4	3.5	2.8	…	…	…	3.3	1.1	2.0	4.9
	R4	42.0	46.8	10.9	3.5	2.6	…	…	…	3.1	1.5	1.5	6.1
	R5	43.0	45.0	9.5	3.0	2.3	0.4	0.0	0.1	3.5	1.1	0.8	4.7
全国R5	37.8	34.8	12.4	3.3	2.4	0.6	0.1	0.2	2.9	0.8	0.9	6.3	
中 学 校	H25	59.2	56.8	8.1	2.2	3.5	…	…	…	1.8	1.2	1.8	2.3
	H30	60.0	43.1	10.0	3.2	4.1	…	…	…	2.2	1.9	1.1	4.4
	R1	62.8	45.0	8.0	3.1	4.0	…	…	…	3.0	1.7	0.7	6.5
	R2	64.4	41.3	4.6	2.6	3.7	…	…	…	3.5	3.0	1.1	2.9
	R3	64.6	35.1	7.0	3.0	3.3	…	…	…	1.6	1.9	0.7	3.7
	R4	67.0	38.1	5.7	2.0	3.1	…	…	…	1.8	2.2	0.4	3.5
	R5	67.3	36.2	5.9	3.1	3.4	1.5	0.1	0.4	2.0	2.3	1.0	4.7
全国R5	60.9	28.0	10.5	3.0	3.2	1.4	0.1	0.3	2.0	2.8	0.5	4.9	
高 等 学 校	H25	68.6	65.7	0.2	0.7	3.5	…	…	…	0.6	0.9	0.0	0.2
	H30	67.3	52.5	6.5	3.6	4.0	…	…	…	1.8	1.5	-	0.1
	R1	-	54.9	0.8	3.3	4.2	…	…	…	2.0	5.6	0.8	0.2
	R2	-	52.9	X	2.1	4.3	…	…	…	2.1	1.9	0.5	0.1
	R3	77.2	49.7	5.3	3.6	2.9	…	…	…	2.3	2.6	0.1	0.1
	R4	77.2	51.9	4.8	3.6	3.4	…	…	…	1.7	1.2	0.0	0.1
	R5	81.0	48.2	0.2	2.2	3.3	0.4	0.0	0.2	1.4	1.5	-	0.2
全国R5	67.8	36.4	7.6	2.4	3.1	0.8	0.1	0.2	1.5	2.5	0.3	2.6	

(注) 1 小数点以下第2位を四捨五入している。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ調査を実施している。

3 「せき柱の状態」、「胸郭の状態」、「四肢の状態」については、令和4年度までは「せき柱・胸郭・四肢の状態」として調査。